



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シード

コード番号 7743 URL <http://www.seed.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦壁 昌広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鎌田 清

TEL 03-3813-1111

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト様向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	10,452	15.9	357	47.7	329	49.4	156	47.2
27年3月期第2四半期	9,015	0.7	242	△49.6	220	△49.2	106	△45.7

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 52百万円 (△78.6%) 27年3月期第2四半期 245百万円 (50.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	18.28	—
27年3月期第2四半期	12.42	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	23,685	8,250	34.8	964.43
27年3月期	24,823	8,390	33.8	980.80

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 8,250百万円 27年3月期 8,390百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	22.50	22.50
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	22.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,300	13.7	800	47.8	750	58.0	400	84.8	46.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成27年5月12日付にて公表いたしました平成28年3月期通期連結業績予想を、平成27年11月5日付にて修正しております。連結業績予想の修正については、平成27年11月5日付にて公表いたしました「平成28年3月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	9,112,000 株	27年3月期	9,112,000 株
28年3月期2Q	557,300 株	27年3月期	557,300 株
28年3月期2Q	8,554,700 株	27年3月期2Q	8,554,749 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。上記予想に関する事項は、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想」や、平成27年11月5日付にて公表いたしました「平成28年3月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」等の将来予測情報に関する説明を参照して下さい。

(第2四半期決算説明会内容の入手方法)

平成27年12月4日(金)16時より、大手町のファーストスクエアカンファレンスにて、機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。当説明会の資料は、翌営業日迄にTDnet及び当社ホームページにて開示・掲載をいたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策及び金融緩和の効果が継続し、雇用環境や企業収益において緩やかな回復基調が続いているものの、中国をはじめとする新興国経済の減速等により、先行き不透明な状況で推移しております。

コンタクトレンズや眼鏡業界におきましても、消費税特需による反動減の影響も一巡し市場は回復基調に転じており、価格、販路、広告戦略等々における各メーカー間の販売促進が激化するものと思われまます。

このような状況の中、当社グループといたしましては、今期を起点とする3ヶ年中期経営計画を策定し、『世界に広がる“日本のシード”』を具現化してゆく3年間と位置付け、「販売戦略」、「商品戦略」、「生産・開発力強化」、「管理体制強化」を最重要施策として、変化する市場や将来の競争力強化に結実すべく、積極的に経営資源を投下してまいります。新商品の投入や既存商品のスペック拡充、ブランド認知度向上を図り、国産ならではの開発力、品質・安全性の高さを、お客様よりご理解、ご支援いただくことでシェア拡大に繋げ、収益性の改善、事業基盤の強化に努めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,452百万円（前年同期比15.9%増）と増収となり、利益につきましては、広告宣伝費の投下や売上増加に伴う物流コスト等の増加はありましたものの、売上高の伸長等により営業利益357百万円（前年同期比47.7%増）、経常利益329百万円（前年同期比49.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益156百万円（前年同期比47.2%増）と増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (コンタクトレンズ・ケア用品)

コンタクトレンズ・ケア用品につきましては、純国産1日使い捨てコンタクトの「シードワンデーピュア」シリーズや、瞳を際立たせるサークルレンズ「シードアイコフレワンデーUV」と「ヒロインメイクワンデーUV」を柱として、国産の品質力やきめ細やかな対応力、独自の付加価値といったアピールポイントを前面に、国内外において積極的な営業活動を展開してまいりました。

この結果、昨年6月から全国発売を開始いたしました「シードワンデーピュアうるおいプラス乱視用」や、女優の飯島直子さんをキャラクターに起用した遠近両用の「シードワンデーピュアマルチステージ」等の機能性コンタクトが着実に伸長しております。これにより、近視・遠視用も加えた「シードワンデーピュア」シリーズは約37%の伸長となりました。加えて、回復基調の市場環境をベースに、2週間・1ヶ月交換タイプにおいてもユーザーが市場に戻ってきており、売上高は9,812百万円（前年同期比16.3%増）と増収となりました。出荷増に伴う物流関連費用や広告宣伝費、研究開発費の投入等で販管費も増加しているものの、売上伸長による粗利益増加によって、営業利益につきましては、704百万円（前年同期比22.6%増）と増益となりました。

#### (眼鏡)

眼鏡につきましては、主力フレームの「ビビッドムーン」や「プラスミックス」を中心に、代理店の活用や地方展示会出展、海外ルート確立等、新販路の開拓や既存得意先での取引量拡大に努めてまいりました。

眼鏡業界におきましても、消費税特需による反動減の影響が一巡し消費動向は回復基調にあり、主力フレームの春夏新作モデルが大型チェーン店等で採用され予定どおり配荷されました。この結果、売上高は474百万円（前年同期比14.3%増）となりましたものの、主力フレームの秋冬用新作モデルの製作費用や広告宣伝費等を一部当累計期間に投入した影響もあり、営業損失23百万円（前年同期営業損失30百万円）となりました。

#### (その他)

その他につきましては、売上高は165百万円（前年同期比0.4%減）とほぼ前年同期並みとなり、営業損失34百万円（前年同期営業損失23百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、23,685百万円となり、前連結会計年度末から1,138百万円減少いたしました。主な要因として、売上高の伸長に伴いたな卸資産が734百万円(4,311百万円から3,577百万円)減少したことや、減価償却費の増加により有形固定資産が690百万円(14,135百万円から13,444百万円)減少したことが挙げられます。

負債につきましては、15,434百万円となり、998百万円の減少となりました。主な要因として、リース債務(長期短期合算)の減少305百万円(4,027百万円から3,721百万円)減少したことや、借入金の返済により長期借入金が917百万円(3,887百万円から2,970百万円)減少していることによるものであります。

純資産につきましては、8,250百万円となり、140百万円の減少となりました。主な要因として、その他有価証券評価差額金の減少57百万円(270百万円から212百万円)が挙げられます。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、1,253百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,927百万円(前年同期380百万円の収入)となりました。資金増加の主な要因は、売上高の伸長に伴うたな卸資産の減少734百万円及び減価償却による内部留保874百万円であります。また、資金減少の主な要因は、仕入債務の減少304百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、517百万円(前年同期672百万円の支出)となりました。その主な要因は、定期預金への預け入れ301百万円や、鴻巣研究所2号棟竣工等に伴う有形固定資産の取得による支出236百万円でありま

す。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,308百万円(前年同期519百万円の支出)であります。資金減少の主な要因は、長期借入金の返済1,016百万円や配当金の支払191百万円であります。資金増加の主な要因は、短期借入金の純増減額319百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期迄の進捗状況を踏まえ、回復基調にある国内の市場環境や海外での販売状況、下期以降の経営戦略等を慎重に勘案しまして、平成27年5月12日付で発表いたしました業績予想を、平成27年11月5日付にて下記のとおり修正しております。

売上高21,300百万円、営業利益800百万円、経常利益750百万円、当期純利益400百万円

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,155,443	1,553,309
受取手形及び売掛金	3,400,413	3,313,600
商品及び製品	3,606,667	2,873,344
仕掛品	363,915	350,839
原材料及び貯蔵品	341,214	353,612
未収入金	307,699	351,223
その他	600,313	585,662
貸倒引当金	△124,364	△122,406
流動資産合計	9,651,304	9,259,186
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,057,956	4,860,056
機械装置及び運搬具(純額)	1,263,486	1,096,272
土地	3,548,710	3,548,710
リース資産(純額)	3,880,866	3,608,026
建設仮勘定	92,215	79,620
その他(純額)	292,424	252,240
有形固定資産合計	14,135,658	13,444,926
無形固定資産	71,953	65,273
投資その他の資産	964,632	915,809
固定資産合計	15,172,244	14,426,009
資産合計	24,823,549	23,685,195

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	752,802	447,973
短期借入金	4,538,584	4,760,039
リース債務	886,239	874,326
未払法人税等	13,512	109,674
賞与引当金	286,300	320,930
製品保証引当金	37,830	35,280
その他	1,438,438	1,573,828
流動負債合計	7,953,706	8,122,052
固定負債		
長期借入金	3,887,761	2,970,301
リース債務	3,141,197	2,847,389
退職給付に係る負債	1,256,854	1,296,574
役員退職慰労引当金	64,856	69,575
資産除去債務	125,688	125,897
その他	3,000	3,000
固定負債合計	8,479,357	7,312,737
負債合計	16,433,064	15,434,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,841,280	1,841,280
資本剰余金	3,546,560	3,546,560
利益剰余金	2,924,419	2,888,329
自己株式	△176,292	△176,292
株主資本合計	8,135,967	8,099,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	270,241	212,711
繰延ヘッジ損益	42,076	△8,149
為替換算調整勘定	△22,564	△23,183
退職給付に係る調整累計額	△35,236	△30,850
その他の包括利益累計額合計	254,517	150,528
純資産合計	8,390,485	8,250,405
負債純資産合計	24,823,549	23,685,195



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	9,015,329	10,452,675
売上原価	5,142,685	6,156,570
売上総利益	3,872,643	4,296,105
販売費及び一般管理費	3,630,415	3,938,292
営業利益	242,228	357,812
営業外収益		
受取利息	217	335
受取配当金	3,391	4,067
受取賃貸料	3,585	10,976
為替差益	21,349	—
売電収入	12,833	20,680
その他	11,890	12,083
営業外収益合計	53,267	48,143
営業外費用		
支払利息	56,896	58,285
その他	17,938	17,943
営業外費用合計	74,835	76,228
経常利益	220,659	329,727
特別利益		
固定資産売却益	—	5,013
投資有価証券売却益	—	1,807
特別利益合計	—	6,820
特別損失		
固定資産除却損	—	11,579
特別損失合計	—	11,579
税金等調整前四半期純利益	220,659	324,968
法人税、住民税及び事業税	32,738	91,731
法人税等調整額	81,709	76,846
法人税等合計	114,447	168,577
四半期純利益	106,212	156,390
親会社株主に帰属する四半期純利益	106,212	156,390

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	106,212	156,390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107,476	△57,530
繰延ヘッジ損益	27,797	△50,226
為替換算調整勘定	750	△618
退職給付に係る調整額	2,900	4,386
その他の包括利益合計	138,926	△103,989
四半期包括利益	245,138	52,401
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245,138	52,401
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	220,659	324,968
減価償却費	686,000	874,873
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17,572	△2,158
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	29,835	23,089
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,730	34,630
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△3,000	△2,550
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5,470	27,824
受取利息及び受取配当金	△3,608	△4,402
支払利息	56,896	58,285
固定資産売却損益(△は益)	—	△5,013
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,807
固定資産除却損	—	11,579
売上債権の増減額(△は増加)	793,742	86,833
たな卸資産の増減額(△は増加)	△727,201	734,001
仕入債務の増減額(△は減少)	△253,715	△304,828
未払金の増減額(△は減少)	△68,740	72,027
その他	△145,847	55,113
小計	550,249	1,982,466
利息及び配当金の受取額	3,608	4,402
利息の支払額	△56,929	△58,247
法人税等の支払額	△124,480	△22,664
法人税等の還付額	7,668	21,220
営業活動によるキャッシュ・フロー	380,115	1,927,176
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△301,625
有形固定資産の取得による支出	△644,029	△236,422
有形固定資産の売却による収入	—	5,000
投資有価証券の取得による支出	△526	△568
投資有価証券の売却による収入	—	13,856
貸付けによる支出	△30,000	—
貸付金の回収による収入	4,631	1,950
敷金及び保証金の差入による支出	△336	△3,169
敷金及び保証金の回収による収入	2,242	5,869
その他	△4,472	△2,056
投資活動によるキャッシュ・フロー	△672,489	△517,165
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	330,000	319,645
長期借入れによる収入	450,000	—
長期借入金の返済による支出	△762,343	△1,016,573
配当金の支払額	△213,182	△191,344
リース債務の返済による支出	△323,819	△420,196
財務活動によるキャッシュ・フロー	△519,345	△1,308,470
現金及び現金同等物に係る換算差額	900	△3,575
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△810,819	97,965
現金及び現金同等物の期首残高	2,023,217	1,155,443
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,212,397	1,253,409

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,434,217	415,396	8,849,613	165,715	9,015,329
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,434,217	415,396	8,849,613	165,715	9,015,329
セグメント利益又は損失(△)	574,792	△30,575	544,216	△23,886	520,330

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	544,216
「その他」の区分の損失(△)	△23,886
全社費用(注)	△278,102
四半期連結損益計算書の営業利益	242,228

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,812,746	474,825	10,287,571	165,103	10,452,675
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,812,746	474,825	10,287,571	165,103	10,452,675
セグメント利益又は損失(△)	704,510	△23,541	680,969	△34,713	646,256

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	680,969
「その他」の区分の損失(△)	△34,713
全社費用(注)	△288,443
四半期連結損益計算書の営業利益	357,812

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。